

## 祈りの課題

- 1 教会に属している方々が、御言葉と賛美と祈りの中で、主に従い愛の人となるように。
- 2 教会に属している方々の健康と安全、平安が、主の御手により守られるように。
- 3 礼拝(日曜・金曜)を通して主の大いなる御業を見ることができるよう。
- 4 新たな礼拝堂が与えられるように。

## お知らせ(報告)

- \*本日、はじめて来られた方々を心から歓迎いたします。
- \*礼拝は教会とオンラインで同時に行われています。

## 伊勢崎聖書キリスト教会は

- 「御言葉によって生きる。」
  - 「主の弟子として生きる。」
  - 「神の家族として生きる。」
- ことを目指しているプロテスタント教会です。

## 礼拝のご案内

- 日曜礼拝 11:00~12:00
- 金曜礼拝 20:00~21:00

## 2月の予定表

| 金曜礼拝(祈り会) |   | 日曜礼拝 |                         |
|-----------|---|------|-------------------------|
|           |   | 1日   | 礼拝<br>聖餐式・ティーンズ         |
| 6日        | お休み                                       | 8日   | 礼拝                      |
| 13日       | 20:00~                                    | 15日  | 礼拝<br>お誕生会・ユースクラス・分かち合い |
| 20日       | 20:00~                                    | 22日  | 礼拝<br>特別講義              |
| 27日       | 20:00~                                    |      |                         |
| 参考        | 22 日午後 2 時~ユダヤについての学び(メシアニックジャー) 講師:松本洋輔兄 |      |                         |

# 聖書キリスト教会 伊勢崎聖書キリスト教会



<https://ibcc.holy.jp/>

〒372-0855  
群馬県伊勢崎市長沼町2166-4  
TEL0270-55-3177  
japanese0691@gmail.com

かん よんろく  
牧師 姜 永禄

## 礼拝の順序

司会：矢加部蓮兄  
説教：姜 永祿師

賛美&祈り(アルニオン賛美チーム)

詩 篇 146 篇

新 聖 歌 298 (主に任せよ)

主の祈り

聖 書 詩篇 31:19/46:1/91:2

説 教 神はわれらの避け所また力。

賛 美 わたしを守る方

献 金

献金祈禱 説教者

祝 禱 説教者

報 告

献金は自由献金です。

※献金とは、会費・寄付金ではありません。  
日々の感謝の心を神に表わすものです。

## 詩篇 146篇

ハレルヤ。

わがたましいよ主をほめたたえよ。私は生きて  
いるかぎり主をほめたたえる。いのちのある  
かぎり私の神にほめ歌を歌う。あなたがた  
は君主を頼みとしてはならない。救いのない  
人間の子を。霊が出て行くと人は自分の土に  
帰りその日のうちに彼の計画は滅び失せる。  
幸いなことよヤコブの神を助けとし  
その神 主に望みを置く人。

主は天と地と海またそれらの中のすべてのもの  
を造られた方。とこしえまでも真実を守り  
虐げられている者のためにさばきを行い飢えて  
いる者にパンを与える方。

主は捕らわれ人を解放される。

主は目の見えない者たちの目を開け

主はかがんでいる者たちを起こされる。

主は正しい者たちを愛し

主は寄留者を守りみなしごとやもめを支えら  
れる。しかし悪しき者の道は主が曲げられる。

主はとこしえに統べ治められる。

シオンよあなたの神は代々に統べ治められる。

ハレルヤ。

### 主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名を  
あがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。  
み心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯すものを我らが赦すごと、  
我らの罪をも赦したまえ。我らを試みに会わ  
せず悪より救いいだしたまえ。国と力と栄え  
とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

## 黙想を深める質問

① 私の心はどんな嵐の中にあっただろうか。(忙し  
さ、恐れ、疲れ、怒り、孤独、不安)  
私はそれらを、どのように抱え、どこへ持って行こ  
うとしていただろうか。

② 揺さぶられたとき、私は実際にはどこへ避難し  
ていただろうか。  
人に頼っただろうか。仕事や成功に逃げ込んだら  
ろうか。それとも、何も感じないように心を閉ざして  
いただろうか。その避難先は、私の魂を本当に守っ  
てくれたらろうか。

③ 「神はわれらの避け所また力」という言葉を、  
私はどこまで信じているだろうか。  
知識として知っているだけだろうか。それとも、弱  
さのただ中で、身を寄せているだろうか。  
神は今、私の恐れと混乱の「外側」ではなく、「た  
だ中」に共におられることを、私は受け取っている  
だろうか。

④ 振り返って初めて気づいた「守られていた恵  
み」はあるだろうか。  
あの時は偶然だと思った出来事、今なら主の備えだ  
と気づける出来事はなかつただろうか。その恵み  
を、今日は主の前で感謝できるだろうか。

⑤ 私は、魂の避難をどこに置いているだろうか。  
善行だろうか。自分の強さだろうか。「自分は大丈夫  
だ」という思い込みだろうか。  
それとも、「イエス・キリスト」という神が備えら  
れた避け所に、身を置いているだろうか。

⑥ 今日、主は私にどこへ「避難しなさい」と招い  
ておられるだろうか。  
変えるべき方向はあるだろうか。手放す避難先はあ  
るだろうか。一步、信仰として踏み出す招きは何だ  
らうか。